(19) 世界知的所有権機関 国際事務局





(43) 国際公開日 2005年4月28日(28.04.2005)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 2005/037321 A1

(51) 国際特許分類7: A61K 48/00, 31/409, 33/26, 35/12, 35/76, A61P 35/00, C12N 15/00

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2004/015220

(22) 国際出願日:

2004年10月15日(15.10.2004)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

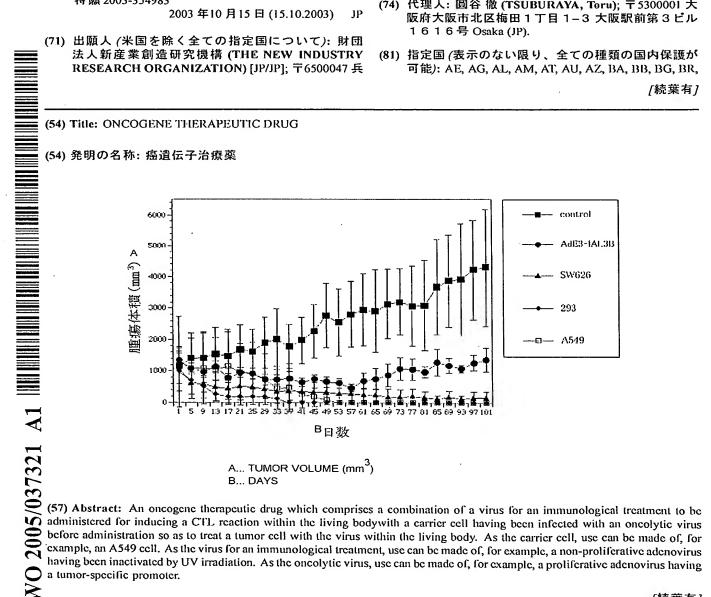
日本語

(30) 優先権データ: 特願 2003-354983

2003年10月15日(15.10,2003)

庫県神戸市中央区港島南町1丁目5番2号 Hyogo (JP).

- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 後藤 章暢 (GOTO, Akinobu) [JP/JP]; 〒6580056 兵庫県神戸市東 灘区御影町御影城の前1430 ヒースコート御影 城の前 Hyogo (JP). 濱田 雄行 (HAMADA, Katsuyuki) [JP/JP]; 〒7900931 愛媛県松山市西石井 1-1-8 西石 井ハイツ406 Ehime (JP). 白川 利朗 (SHIRAKAWA, Toshiro) [JP/JP]; 〒6570068 兵庫県神戸市灘区篠原北 町2丁目8-5 Hyogo (JP).
- (74) 代理人: 圓谷 徹 (TSUBURAYA, Toru); 〒5300001 大 阪府大阪市北区梅田1丁目1-3 大阪駅前第3ビル 1616号 Osaka (JP).



having been inactivated by UV irradiation. As the oncolytic virus, use can be made of, for example, a proliferative adenovirus having a tumor-specific promoter.



BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE,

IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 一 国際調査報告書
- 請求の範囲の補正の期限前の公開であり、補正書受 領の際には再公開される。

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

⁽⁵⁷⁾ 要約: 本発明の癌遺伝子治療薬は、生体のCTL反応を誘導するために投与される免疫処置用ウイルスと、投与前にオンコリティックウイルスを感染させ、同ウイルスを生体の腫瘍細胞に作用させるためのキャリアー細胞とを組み合わせたものである。キャリアー細胞には例えばA549細胞を使用することができる。また、免疫処置用ウイルスには例えば紫外線照射により不活化した非増殖型アデノウイルスを、オンコリティックウイルスには例えば腫瘍特異的プロモーターを有する増殖型アデノウイルスを、それぞれ使用することができる。